

令和2年度	新規
令和2年度	第1回計画変更
令和5年度	第2回計画変更
令和6年度	第3回計画変更
令和8年度	第4回計画変更

土地改良事業変更計画書

（ 農業競争力強化農地整備事業 西大田地区 ）

事業主体 広島県

施工場所 広島県世羅郡世羅町

第1章 目 的	1
第2章 地域及び地積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第3章 現 況	2
第1節 気象及び海象	2
1 一般気象	2
2 特殊気象	2
3 海 象	3
第2節 土地状況	3
1 地形、土壌及び侵食の程度	3
2 土地分類	4
3 土地利用の状況	4
4 土地所有の状況	5
第3節 水利状況	5
1 用水状況	5
2 排水状況	8
3 河川状況	10
第4節 道路概況	10
1 道路概況	10
2 主要道路一覧表	11
第5節 地域農業の概況	11
1 産業別就業人口	11
2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼別農家数	11
3 動力農機具及び主要家畜頭数	12
4 主要作物作付状況	13
5 農業の動向	13
第6節 地域環境の概要	14

第4章 一般計画	15
第1節 事業計画の要旨	15
1 要 旨	15
2 事業別面積	15
第2節 営農計画及び土地利用計画	15
1 営農計画の概要	15
2 土地利用区分	15
3 作付方式	16
4 生産計画	17
5 労働改善計画	18
6 級地別土地利用区分	19
7 土地配分計画	19
第3節 用 水 計 画	20
1 計画基準年	20
2 計画かんがい方式	20
3 計画用水系統	20
4 計画用水量	20
5 水源計画	21
第4節 排 水 計 画	23
1 計画基準雨量	23
2 計画排水方式	23
3 計画排水系統	23
4 計画排水量	23
5 排水対策	23
6 たん水検討	24
第5節 道 路 計 画	25
1 道路及び索道	25
2 路線配置図	25
第6節 農用地造成計画	25
1 農用地造成計画	25
2 土壌改良	25

第 7 節	洪水調節計画	26
1	計画基準雨量	26
2	計画洪水量及び調節量	26
3	貯水池	26
4	洪水調節検討	26
5	管理計画	26
第 8 節	干 拓 計 画	26
第 9 節	農用地整備計画	27
1	区画整理	27
2	暗渠排水	27
3	客土	28
4	農地保全	28
第 10 節	老朽ため池改修計画	29
1	洪水吐改修計画	29
2	堤体補強計画	29
3	取水施設改修計画	29
第 5 章	主 要 工 事 計 画	30
第 1 節	用水施設	30
1	貯水池	30
2	頭首工	30
3	揚水機	30
4	用水路	30
第 2 節	排水施設	31
1	排水水門	31
2	排水機	31
3	排水路	31
4	その他	31
第 3 節	道路及び索道	32
1	道 路	32
2	索 道	32

第 4 節	農用地造成	32
1	農用地造成	32
2	土壌改良	34
第 5 節	洪水調節施設	34
1	貯水池	34
2	頭首工及び導水施設	34
第 6 節	干拓施設	34
1	堤防	34
2	潮止め	35
3	付属施設	35
4	埋立	35
第 7 節	農用地整備施設	35
1	区画整理	35
2	暗渠排水	36
3	客土	36
4	除礫	36
5	農地保全	37
第 8 節	老朽ため池改修施設	37
1	貯水池	37
2	堤体補強施設	37
第 6 章	附 帯 工 事 計 画	38
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	38
第 8 章	環境との調和への配慮	38
第 9 章	換地計画の概要	38
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	38
第 2 節	換地区の設定	38
1	換地区の名称、所在、面積	38
2	換地区を設定する理由	38

第 3 節	換地区計画樹立の基本方針	38
1	従前の土地の地積の基準	38
2	用途別予定地積	39
3	農用地集団化の方針	40
4	非農用地の換地方法	40
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	40
1	評価の方法	40
2	清算の方法	40
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	40
第 6 節	換地処分の時期に関する特則	40
第 10 章	事業費の総額及び内訳	41
第 11 章	効 用	41
第 12 章	関係する事業	41
第 13 章	現況・計画図面	41
1	現況平面図	
2	計画平面図	
3	主要構造図	

第 1 章 目 的

本地区は世羅郡世羅町の中央に位置し、国道432号線に隣接した水田地帯である。本地域は、昭和29～37年には場整備を行なっており、古くから積極的に米作りに取り組んできた地域である。区画は狭小で農道も狭く農業機械の大型化が困難であるとともに、用排水路の分離も十分でない地域もあることから、営農効率は良くない。そのような地域で、農業従事者の高齢化・後継者不足に対応し地区内に農業生産法人も3法人設立され営農を展開している。今回、個別経営から法人経営の移行に併せて、水稻以外に広島県が推奨する高収益作物への転換を目的として本地区のほ場を再整備し、法人経営体への農地集積を推進することで、地域農業の再編と農業経営の安定を図る。

なお、今回の計画変更は、西大田地区の事業区域の変更があったため行うものである。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第 1 節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農業競争力強化農地整備事業	広島県世羅郡世羅町大字賀茂、堀越、京丸、三郎丸

第 2 節 地 積

(第2表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農業競争力強化農地整備事業	世羅町	45.0	0.3	0.2	0.0	3.6	49.1	
合 計		45.0	0.3	0.2	0.0	3.6	49.1	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	福山	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	1942年～2019年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(℃)		23.3	10.9	15.1	
降水量	平均(mm)	575.7	597.5	1,179.6	
	基準年(mm)				
降水日数	平均(mm)	59	117	175	
	基準年(mm)				
根雪期間		-月-日～-月-日	-日間		
無霜期間		-月-日～-月-日	-日間		
最多風向		北北東	最大風速 (風向)	17.8 m/s (東北東)	最多風向発生時期 9月～10月 最大風速発生年月日 1970年8月21日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
世羅															
観測期間															
S51年～H30年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
最大日雨量 (mm)	180	S50.8.17	119.3	177	H10.10.17	101.6	153	H1.8.27	29.0	151	S47.7.10	26.2	150	S40.7.22	24.9
最大時間雨量 (mm)	46	H27.8.17	34.9	40	H9.8.5	10.1	40	S53.9.15	10.1	39	H10.10.17	8.4	39	H19.8.22	8.4
最大4時間雨量 (mm)	102	H10.10.17	34.2	99	H1.8.27	27.6	94	H22.7.14	19.4	89	H4.8.8	13.7	86	H16.8.30	11.2
最大連続雨量 (mm)	524	S60.6.21 ～6.30	-	431	H30.7.3 ～7.8	-	398	S56.6.18 ～7.4	-	363	S51.9.8 ～9.13	-	317	S54.6.25 ～7.2	-
最大連続干天日数 (日)	85	S51.1.1 ～3.25	146.6	63	H24.2.29 ～5.1	38.4	60	S52.1.1 ～3.1	31.4	56	S46.10.30 ～12.24	23.9	53	H22.7.16 ～9.6	19.3

3 海 象

該当なし

(第3表-3)

観 測 所 名		既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)
観 測 期 間	年～ 年							
実 測 値		()						()

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田・畑						樹園地・その他								受益地標高(m)	
	傾斜 区分	1/1000 以下	1/1000 ～1/100	1/100 ～1/20	1/20 ～1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8°～15°			15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低
										8° ～10°	10° ～12°	12° ～15°					
農業競争力強化農地整備事業	面積 (ha)		6.0	39.0	0.3		45.3	0.2							0.2	370	340
	比率 (%)		13	86	1		100										
合計	面積 (ha)		6.0	39.0	0.3		45.3	0.2							0.2		
	比率 (%)		13	86	1		100										

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表									面積(ha)		備 考	
	土 壌 断 面							堆積様式	母材	事 業 名			
	色	腐 植	礫 層	酸化 沈殿物	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層	農業競争力強化農 地整備事業		計
					表 土	下 層 土							
					一 層	二 層	三 層						
グライ土壌 粘土型 E-42	灰色	なし	なし	-	SiCL	SiCL		なし	水積	非固結堆積岩	2.5	2.5	
グライ土壌 壤土型 E-43	青灰	なし	なし	-	SiCL	SL		グライ層(K1～K3)	洪積世堆積 残積・崩積	-	16.2	16.2	
灰褐色土壌 粘土層構造マンガン型 G-61	灰褐	なし	なし	-	SiCL	SiCL		なし	水積	非固結堆積岩	26.6	26.6	
計												45.3	

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸蝕の程度		備 考
		0	0～	25%～	50%	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
			25%									
	面積(ha)											
	比率(%)											

2 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農用地造成										計	備 考	
		一級地	二級地				三級地				四級地			
			※	3° ～8°	8° ～12°	12° ～15°	※	15° ～20°	20° ～25°	25° ～30°	※			30° 以上
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
													※は傾斜以外の 要因によるもの	
計														

該当なし

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3 土地利用の状況

(令和8年5月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山林		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業競争 力強化農 地整備事 業	世羅町	45.0	0.3								0.2	3.6	49.1	
合 計		45.0	0.3								0.2	3.6	49.1	

4 土地所有の状況

(令和8年5月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人所有	国所有	県所有	町所有	改良区所有	計	備 考
農業競争力強化農地整備事業	面積 (ha)	45.6	0.1		3.4		49.1	
	受益者数 (人)	45					45	
	筆数 (筆)	(450) 453	22		(195) 200		(667) 675	
	権利関係 (人)	(120) 110					(120) 110	
	備考 (関係戸数)							
合 計	面積 (ha)	45.6	0.1		3.4		49.1	
	受益者数 (人)	45					45	
	筆数 (筆)	(450) 453	22		(195) 200		(667) 675	
	権利関係 (人)	(120) 110					(120) 110	
	備考 (関係戸数)							

第3節 水利状況

1 用水状況

芦田川水系を水源とする系統と溪流である。

(1) 用水系統

別添資料①参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
		ha以上		～ha		100 ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
農業競争 力強化農 地整備事 業	貯水池														
	井堰					2	11.5	2	11.5			2	0.054		
	自然取入口														
	揚水機					1	15.2	1	15.2			1	0.072		
	その他					1	16.4	1	16.4			1	0.077		ため池
合 計						4	43.0	4	43.0			4	0.203		

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積(ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を 必要とする 理由	備 考
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水機							
	その他							
合 計								

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面 積 (ha)	現 況 必要水量 (千m3)	不 足 水 量				平 均 減 産 量 (t)		備 考
				かんがい期 最大不足水量		かんがい期 総不足水量		作物名	減産量 (t)	
	平均 (m3/s)			基準年 (m3/s)	平均 (千m3)	基準年 (千m3)				
合 計										

(イ) その他の被害状況

該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(℃)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)					計	備 考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他		
合 計											

2 排水状況

(1)排水系統
別添資料④参照

(2)排水施設

(ア)排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m3/s)	現況排水能力 (m3/s)	備考
			500 ha以上		500ha未満～100ha		100 ha未満						
	箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha					
農業競争力強化農地整備事業	自然	排水路			3	524.3			3	524.3	26.372	31.646	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
合 計									3	524.3	26.372	31.646	

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
合 計									

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平 均		備 考
					湛水深	湛水時間	湛水面積	湛水量	田		畑		その他		減 産 量		
	(cm)				(hr)	(ha)	(千m3)	乾	湿	乾	湿	乾	湿	作物名	減産量(t)		
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
合 計			平均														
			基準年														

3 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m3/s)	既往最大洪水量 (m3/s)	備 考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備 考
過去の最大被害額						
平均被害額						

第4節 道路概況

1 道路概況

賀茂東地区は中央を、堀越地区は北側を国道432線が東西に縦断している。この主要道路から本地区へ接続する農道は未改修で農道の幅員が狭く高低差も大きいいため、農業機械の搬入搬出や農作物の運搬に多大な時間と労力を要している。さらに、国道のため一般交通量も多く合流の際の安全性が低いいため、営農時の国道通行は極力抑えたい。

2 主要道路一覧表

(第6表)

No	路 線 名	管 理 区 分 別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	備 考
				全 幅	有 効			
	国道432号線	県	2,552.0	6.0 ～ 10.0	-	アスファルト舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業 等	建 設 業	製 造 業	電気ガス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸 売 り 小 売 業	金 融 保 険 業	不動産業 等	サービス業	公 務	そ の 他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
世羅町	7,981	1,906	53	11	5	547	1,087	15	353	985	62	37	1,044	262	1,614	
比率(%)	100	23.9	0.7	0.1	0.1	6.9	13.6	0.2	4.4	12.3	0.8	0.5	13.1	3.3	20.2	

資料:国勢調査(H27)、国勢調査(R2)

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経 営 耕 地 例外規定 の適用を 受けるもの	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)										1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専 兼 業 別 家 数 (戸)			備 考	
			0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20 ha 以上	自給 的 農家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸 当たり 団地数	団地 当たり面積 (ha)	専 業	兼 業		
																						第一種		第二種
世羅町	1,115	-	132	536	213	67	58	36	21	27	25	-	1.8	0.2	0.1	2.1		2.1	-	-	346	100	669	
比率(%)	100		11.8	48.1	19.1	6.0	5.2	3.2	1.9	2.4	2.2	-									31	9	60	

資料:農業センサス(H27)、農業センサス(R2)、広島農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	主 要 家 畜						備 考
	乳用牛		肉用牛		豚		
	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	
世羅町	585	6	x	20	x	2	
100戸当り 数量(台、頭)							
利用戸数 割合(%)							

資料:農業センサス(H27)、農業センサス(R2)

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名			世羅町		計		平均		作付率 (%)	備考	
総耕地面積(ha)			1,692		1,692						
総本地面積(ha)			－								
区分			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg・10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)			
作物名											
田	表作	水稻	1,730	549					102		
		大豆	69	142					4		
	裏作										
	小計										
畑	春夏作										
	秋冬作										
	小計										
樹園地											
	小計										
計			－				－				
市町村別 延べ作付率(%)			－				－				

資料: 広島農林水産統計年報(H29-30)

5 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A	指定等	
変化の 状況 (C年を 100とする 指数)	総農家数	83	63	耕地	98	96	米	103	101	乳用牛	-	-	耕運機	80	-	A: 令和2年 B: 平成27年 C: 平成22年	
	専業農家数	114	86	田	99	96	麦類	98	102	肉用牛	-	-	田植機	75	-		
	第一種兼業農家数	57	43	普通畑	93	90	豆類	70	48	豚	-	-	コンバイン	74	-		
	第二種兼業農家数	77	58	樹園地	-	-	野菜	110	134	採卵鶏	-	-	防除機	-	-		
	農業従事者数	73	54														
変化の 理由	農業を取り巻く社会情勢の変化による。																

資料: 農業センサス、広島農林水産統計年報

第6節 地域環境の概要

本地区は、世羅郡世羅町の中央に位置し、中国山地内陸型の気候のため、瀬戸内海沿岸と比較して冬期の気温は低く、夏期も比較的冷涼である。気象に関しては、年間平均気温13℃、年間平均降水量1,300mmである。

また、本地区は「世羅町田園環境整備マスタープラン」において”環境配慮区域”に指定されており、工事の施工前から随時確認を行い、必要に応じて工法検討を行う必要がある。なお、現地調査の結果、保護すべき植物としてヒメミズワラビ・シャジクモなどの4種、保護すべき動物として地域特徴種を含めたチョウセンイタチ・トノサマガエルなど9種の生息が確認されており、環境省及び広島県のレッドデータリストに掲載されている動植物も確認されている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

本地区は農業の個別経営から法人経営へと移行するため、生産基盤である耕地に関して区画形質の改善、用排水路、道路、暗渠排水の整備、耕地の集団化等を総合的に実施し、農業機械の効率的な運行と合理的な水管理を行ないうる生産性の高い条件に整備することを目的とする。

また、農業従事者の高齢化による地域農業衰退の危機を解消するため、事業を契機に規模を拡大する地元営農法人への農地集積、広島県が掲げる高収益作物の取り組みにより、地域農業の再編と農業経営の安定を図る。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	農業競争力強化農地整備事業																計	備考
	水田	輪換耕地	普通畑	山林 原野等	その他			小計	水田	輪換耕地	普通畑	山林 原野等	その他			小計		
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)				(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)				(ha)	(ha)	
区画整理		(41.4)	(0.6)					(42.0)									(42.0)	
		40.7	0.5					41.2									41.2	
(暗渠排水)		(41.4)	(0.6)					(42.0)									(42.0)	
		40.7	0.5					41.2									41.2	
計		(41.4)	(0.6)					(42.0)									(42.0)	
		40.7	0.5					41.2									41.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

現在、農業に取り組む若い担い手の減少や営農者の高齢化が急速に進行しているため、本地区を含めた地域農業の大きな課題になっている。この課題を解消するために、集落法人の規模拡大・農地集積の進行・共同購入など集落法人間の連携を加速させ、区画整備や暗渠排水などの基盤整備を併せることで、営農効率の向上・高収益作物への取り組み拡大・担い手の創出を推進する。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業競争力強化 農地整備事業	現況	45.0	0.3					45.3	0.2	0.0	3.6	49.1	
	計画	(41.4)	(0.6)					(42.0)			(7.1)	(49.1)	
		40.7	0.5					41.2			7.9	49.1	
計	現況	45.0	0.3					45.3	0.2	0.0	3.6	49.1	
	計画	(41.4)	(0.6)					(42.0)			(7.1)	(49.1)	
		40.7	0.5					41.2			7.9	49.1	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用 区分	1年目												2年目												備考
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
農業競争力強化農地整備事業	現況	水稻	田				○	△					×						○	△					×			○:播種
		大豆	畑						○					×						○						×		△:定植
	計画	水稻	田				○	△					×						○	△					×			×:収穫
		野菜	畑		○					×	○				×			○				×	○				×	
				3年目												4年目												
	現況	水稻	田				○	△					×						○	△					×			
		大豆	畑						○					×						○						×		
	計画	水稻	田				○	△					×						○	△					×			
		野菜	畑		○					×	○				×			○				×	○				×	

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳(t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積当たり 収量増加	
農業競争力強化農地整備事業	田	表作	水稻	39.3	14.4	△ 24.9	92	25	539	571	32	211.8	82.2	△ 129.6	△ 134.2	4.6	
	畑	表作	大豆	1.8	2.0	0.2	4	4	135	146	11	2.4	2.9	0.5	0.3	0.2	
			麦	1.6	10.6	9.0	4	19	221	272	51	3.5	28.8	25.3	19.9	5.4	
		裏作	キャベツ(2作)		12.2	12.2		21	6,807	6,807	0		830.5	830.5	830.5	0.0	
			かぼちや		10.6	10.6		19	1,248	1,435	187		152.1	152.1	132.3	19.8	
			広島菜(2作)		6.6	6.6		12	4,000	4,000	0		264.0	264.0	264.0	0.0	
			(普通畑) かぼちや		0.5	0.5		1	1,248	1,248	0		6.2	6.2	6.2	0.0	
	計			42.7	56.9	14.2	100	100									

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
				人 力				
農業競争力強化農地整備事業	田	水稻	14.4	機械力	27.0	13.1	13.9	
					8.3	7.0	1.3	
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
	畑	大豆	2.0	人 力	11.4	7.3	4.1	
				機械力	3.1	3.7	△ 0.6	
		麦	10.6	人 力	10.3	5.0	5.3	
				機械力	8.0	4.2	3.8	
		キャベツ(2作)	12.2	人 力	84.9	80.5	4.4	
				機械力	46.5	41.6	4.9	
		かぼちゃ	10.6	人 力	103.0	45.3	57.7	
				機械力	27.0	15.9	11.1	
		広島菜(2作)	6.6	人 力	68.5	65.2	3.3	
				機械力	24.8	24.3	0.5	
				人 力				
				機械力				
		かぼちゃ	0.5	人 力	103.0	45.3	57.7	
				機械力	27.0	15.9	11.1	
	計		56.9	人 力	408.1	261.7	146.4	
				機械力	144.7	112.6	32.1	

6 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地 利用区分	区分 級地名	農用地造成(ha)					干拓(ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画(ha)								備 考
		田	転換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1 計画基準年

近傍世羅観測所の資料(昭和26年～平成29年)における、かんがい期間中の有効雨量と連続干天日数の1/10年確率を求め、平成20年を計画基準年とする。

2 計画かんがい方式

開水路(KF)にて取水かんがいを行う。かんがい期間は4月20日～9月9日の142日間とし、代掻き期は4月20日～4月30日の10日間とする。

3 計画用水系統

別添資料②参照

4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			そ の 他		消費 水量 (m3/s)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量		備考
		事業名			普通期 単 位 計 画 平 均 水 量 (mm/日)	代かき期 単 位 計 画 代 用 か き 水 量 (mm)	面積 (ha)	深 平 り 一 均 均 計 日 画 かん 当 た る 水 (mm/日)	平 均 間 断 日 (日)	面積 (ha)	深 平 り 一 均 均 計 日 画 かん 当 た る 水 (mm/日)	平 均 間 断 日 (日)	面積 (ha)	平 均 単 位 計 画 水 量 (mm/日)	面積 (ha)			平均	最大	
A	農業用水	6.6		6.6	18	140	2.6	30	7	4.0						0.036	15	0.043	0.054	
B	農業用水	12.6		12.6	18	140	4.9	30	7	7.7										
C	農業用水	4.2		4.2	22	140	1.6	30	7	2.6										
D	農業用水	12.8		12.8	22	140	4.9	30	7	7.9										
計		36.2		36.2			14.0			22.2						0.036		0.043	0.054	

(2) 営農飲雑用水

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積(ha)			日当たり給水量		補給回数(回)	関係戸数(戸)	備考
		事業名			単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
				計					

5 水源計画

(1) 水利用計画

別添資料③参照

(第10表-2)

項目 区分		消費 水量	有効 雨量	純用 水量	粗用 水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備 考
		a	b	c=a-b	d= c/(1-a)	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		損失率 :a
		(千m3)	(千m3)	(千m3)	(千m3)		e (千m3)	f (千m3)	g=c-f (千m3)	h=d-e (千m3)		(千m3)		
(事業名)														
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km2)		かんがい面積(ha)		純貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備考
			事業名						
	直接	間接		計					
計									

(イ) 井堰及び自然取水口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km2)	かんがい面積(ha)		取水量(m3/s)		渇水量 (m3/s)	備考
			事業名		最大	平均		
			農業競争力強化農地整備事業	計				
賀茂桑又井堰	芦田川		7.8	7.8	0.013	0.009	-	
-	溪流		14.1	14.1	0.023	0.016	-	
福神井堰	京丸川		5.3	5.3	0.009	0.006	-	
計			27.2	27.2	0.045	0.031		

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積(ha)		所要水量(m3/s)		揚水機				備 考
		事 業 名		最 大	平 均	実揚程 (m)	揚水量 (m3/s)	台数 (台)	全揚水量 (m3/s)	
		農業競争力強化農地整備事業	計							
寺堀揚水ポンプ	芦田川	13.9	13.9	0.021	0.014			1		

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積(ha)		最大通水量 (m3/s)	延長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名					
	農業競争力強化農地整備事業	計				
支線用水路	36.2	36.2	1.397	5.12	塩ビ管(VU200～450)	
計	36.2	36.2	1.397	5.12		

- (オ)その他の水源施設
該当なし
- (3)水温水質
水温、水質とも作物生育上支障なし

第4節 排水計画

- 1 計画基準雨量
1/10年確率 (時間雨量) 39.7 mm/hr (4時間雨量) 83.6 mm/4hr
1/2年確率 (時間雨量) 29.6 mm/hr (4時間雨量) 56.3 mm/4hr

- 2 計画排水方式
角フリュームまたはDFフリュームにより河川または下流水路へ自然排水する。

- 3 計画排水系統
別添資料⑤参照

4 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	項目	受益面積(ha)		流域面積 (km2)		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m3/s/km2)		基底流出量 (m3/s/km2)		全排水量(m3/s)			単位排水量 (m3/s/km2)		備 考
		事業名					山地	平地	山地	平地	山地	平地	山地	平 地		
		農業競争力強化農地整備事業	計	自然排水	機械排水											
A		26.6	26.6	1.887	1.400	39.7	5.514	4.411			10.405	6.175		5.514	4.411	
B		0.2	0.2	0.387	0.181	39.7	5.514	4.411			2.134	0.798		5.514	4.411	
C		22.3	22.3	0.668	0.720	39.7	5.514	4.411			3.683	3.177		5.514	4.411	
計		49.1	49.1	2.942	2.301											

- 5 排水対策
(1)排水水門 該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km2)		受益面積(ha)			計画排水量		排水本川			備 考
			事業名			排水量 (m3/s)	地区内 湛水深(m)	名称	計画洪水量 (m3/s)	計画洪水位 (m)	
					計						
計											

(2) 排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km2)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備 考
		事業名			排水量 (m3/s)	地区内 湛水深(m)	実揚程 (m)	排水量 (m3/s)	台数 (台)	全排水量 (m3/s)	
				計							
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km2)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m3/s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m3/s)	計画洪水位 (m)	
		農業競争力強化農地整備事業	計							
支線排水路	5.24	49.1	49.1	26.372	4.91	KF200～500 芦田川, 京丸川				
						DF1400*800 ～1500*1000				
計			49.1		4.91					

(4) その他

該当なし

6 たん水検討

該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
路線名				
幹線道路	5.0(4.0)×0.22	アスファルト	町道に接続	
支線道路	4.0(3.0)×5.01	アスファルト	国道・町道・農道に接続	
支線道路	4.0(3.0)×0.04	砂利	国道・町道・農道に接続	
支線道路	3.0(2.5)×0.19	アスファルト	国道・町道・農道に接続	
支線道路	3.0(2.5)×0.07	砂利	国道・町道・農道に接続	
既設利用	5.0～3.0×0.37	アスファルト・砂利		
計	5.53			

(2) 索道

該当なし

(第12表-2)

項目	能 力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備 考
路線名				

2 路線配置図

計画平面図参照

第6節 農用地造成計画

1 農用地造成計画

該当なし

(1) 農用地造成計画

該当なし

(第13表-1)

項目	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考
土地利用区分					

(2) 末端水路配置図

該当なし

2 土壌改良

該当なし

(第13表-2)

項目	面 積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H ₂ O	KCl			石 灰 (t)	りん酸質 資 材(t)	有機質 資材(t)	
区分										

第7節 洪水調節計画

1 計画基準雨量 該当なし

2 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節後流量 (m ³ /s)	調節前後最大流量 (m ³ /s)	調節前後最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3 貯水池 該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4 洪水調節検討 該当なし

- (1) 河川改修計画との関係
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5 管理計画 該当なし

- (1) 管理機構
- (2) ダム管理操作上の各種基準
- (3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1 区画整備

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)		割合 (%)		田面差 (m)	備考
80×125	100	(39.3)	38.5	(93.6)	93.4	1m以内	
20×100	20	(1.8)	1.8	(4.3)	4.4	1m以内	
25×80	20	(0.6)	0.6	(1.4)	1.5	1m以内	
30×100	30	(0.3)	0.3	(0.7)	0.7	1m以上	
端田区							
計		(42.0)	41.2				

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
(42.0)			(63,000)	
41.2	肥沃度の保持が困難	15	61,800	

(3) 末端道水路配置図

計画平面図参照

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積(ha)		土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{m^3}{s/ha}$)	計画後の 地下水位(m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備考
	事業名	計						
地下水位制御システム(FOEAS)	(42.0)41.2	(42.0)41.2		40	4.6	(水位設定可)	自然排水	
計		(42.0)41.2						

(2) 心土破碎

該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積(ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名	計				
計						

3 客 土

該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積(ha)			土壌統(区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m3)	土壌の性質		備考
	事業名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料)(%)	
			計									

4 農 地 保 全

(1) 防 災 林

該当なし

(第16表-5-1)

区分 \ 項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備 考

(2) 排 水 工

該当なし

(第16表-5-2)

区分 \ 項目	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排水量		備 考
				単位排出量 (m3/s/ha)	全排水量 (m3/s)	

(3) 侵 食 (崩 壊) 防 止 工

該当なし

(第16表-5-3)

区分 \ 項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画

- | | |
|------------|------|
| 1 洪水吐改修計画 | 該当なし |
| (1) 計画基準雨量 | |
| (2) 計画洪水量 | |
| 2 堤体補強計画 | 該当なし |
| 3 取水施設改修計画 | 該当なし |

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池

該当なし

(第17表-1)

名称				位置						
堤体	形式	流域面積(km2)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m3)	基盤地番 地質	貯水量(千m3)		備 考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)		取水施設	型式	取水量 (m3/s)	放流施設	型式	放流量 (m3/s)	

2 頭首工

該当なし

(第17表-2)

名 称				位置				備 考
型 式	堤高 (m)	堤長(m)			取水位 (m)	取水量 (m3/s)	付帯施設	
		固定部	可動部	計				

3 揚水機

該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m3/s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	

4 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)	通水量 (m3/s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネル その他	計				
	農業競争力強化農地整備事業								
支線用水路	37.0	0.056	-	5.119	5.119	VU200～450	1/100～1/1000	塩ビ管	
計	37.0		-	5.119	5.119				

第2節 排水施設

1 排水水門

該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水路 (m ³ /s)	備考
計							

2 排水機

該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程(m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	

3 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積(ha)	排水量 (m3/s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネル その他	計				
	農業競争力強化農地整備事業								
幹線・支線排水路	49.1	26.372	4.914		4.914	KF200～500 DF1400*800	1/50～1/1000	角フリューム DF水路	
						～1500*1000			
計	49.1	26.372	4.914		4.914				

4 その他

該当なし

第3節 道路及び索道

1 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

区分 項目	路線名	幅(有効)(m) ×延長(km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
幹線道路	1路線	5.0(4.0)×0.22	AS							
支線道路	29路線	4.0～3.0×5.32	AS・砂利							
計		5.53								

(2) 道路主要構造物

該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2 索道

該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
				型 式	能 力 ()	

第4節 農用地造成

1 農用地造成

(1) 抜根

該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2) 除 礫

該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開 墾 作 業

該当なし

(第20表-3)

区 分	項 目		面 積 (ha)	工 法	備 考
	地 目	造 成 工 法			
	計				

(4) 地 目 変 換

該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積(ha)	工 法	備 考
	計			

(5) 末 端 用 水 路 等

該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構 造	備 考
	計				

(6) 末 端 排 水 路 等

該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構 造	備 考
	計				

2 土 壤 改 良

該当なし

(第20表-7)

区 分 \ 項 目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計					

第5節 洪水調節施設

1 貯水池

該当なし

2 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工

該当なし

(第21表-2)

名称			位置					備 考
			堤長(m)					
型式	集水面積 (km2)	提高 (m)	固定部	可動部	計	計画洪水位 (m)	付帯施設	

(2) 導水路

該当なし

(第21表-3)

水路名 \ 項 目	通水量 (m ³ /s)	延長(m)			構造	勾配	備 考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1 堤防

該当なし

(第22表-1)

項目 名 称	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高(m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2 潮止め

該当なし

(第22表-2)

項目 名 称	工 法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考

3 付 属 施 設

該当なし

4 埋 立

該当なし

(第22表-3)

項目 区 分	面 積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m3)	施工方法	備 考

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土量(m3)	面積(ha)	土量(m3)	
	(22.7)		(137,270)	(22.7)	(34,050)	
賀茂東	21.9	100a	132,430	21.9	32,850	
堀越	19.3	100a	116,710	19.3	28,950	
	(42.0)		(253,980)	(42.0)	(63,000)	
合計	41.2	100a	249,140	41.2	61,800	

(2) 末端用水路等

該当なし

(第23表-2)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等

該当なし

(第23表-3)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考

2 暗 渠 排 水

(1) 暗 渠 排 水

(第23表-4-1)

区 分	項 目	面 積 (ha)		ベストドレーン工				補助孔工 ピット工 弾丸暗渠 I～IV型		湧水処理工		農業用地下水位管理 器	水位制御 器				備 考
		農 業 競 争 力 強 化 農 地 整 備 事 業	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	1m間隔 (a)	箇所	管種	延長 (m/ha)	(個)	(個)				
水田・畑		(42.0) 41.2	(42.0) 41.2	水平	有孔 PEW	50～100	1,025	3,730	671	有孔 PEWφ 50	255	112	112				
	計		(42.0) 41.2														

(2) 心 土 破 碎

該当なし

(第23表-4-2)

区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計					

3 客 土

該当なし

(第23表-5)

区 分	項 目	面積(ha)			客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
		事 業 名		計					
	計								

4 除 礫

該当なし

(第23表-6)

区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計					

5 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路 該当なし

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m3/s)	構造	備考

(3) 侵食防止工 該当なし

(第23表-9)

項目 名称	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池 該当なし

(第24表)

名称	型式	流域 (km2)	堤高 (m)	堤長 (m)	位置 堤体積 (m3/s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m3)	備考
堤体								
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m3/s)	備考

2 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

地区名	着手予定年度	完了予定年度	備考
西大田	令和2年度	令和9年度	

第8章 環境との調和への配慮

環境調査で確認された希少動植物への配慮について、保護すべき植物としてヒメミズワラビ・シャジクモなどの4種、保護すべき動物として地域特徴種を含めたチョウセンイタチ・トノサマガエルなど9種が該当するが、これらについては施工前移動・移植など適切な対応を行なう。
また、工事着手後に保護すべき生物が確認された場合は、対応・工法について検討を行ない適切に対処する。
工事中は、河川汚濁防止施設を設置し、工事区域からの濁水放流に配慮する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

原則として、各人の従前地の土地が最も密集した位置を中心に集団化を図り、本地区の換地設計基準、土地評価基準に基づいて換地配分する。

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
賀茂東	世羅郡世羅町大字賀茂 字 大通、野阪、土済、撰利、堂免、御崎野	26.1
堀越	世羅郡世羅町大字京丸 字 鳥井沖、榎ヶ坪 世羅郡世羅町大字堀越 字 柳原、場正面、屋地、神田、栗島 世羅郡世羅町大字三郎丸 字 中沖	23.0

2 換地区を設定する理由

本地区は、社会的・地理的条件を考慮し、行政区域を一換地工区とし、換地促進のため2工区に区分する。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
賀茂東 堀越 (各工区共通)	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している。 土地については土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とし、分筆して地区内となる土地は事業主体の行う実測地積とする。 なお、国土調査法に係る異義申出があったときは、これを受け付けて対応を検討する。

2 用途別予定地積

(単位:ha)

(第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地					一般 国 公 用 地	総 合 計	
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に 含める土地 (令第1条の9括弧書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			農 創 用 地 設 計	合計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地						合計	国	県	市			合計
						土地 改良 施設	その他	小計		改良 区	市	計			宅 地	その他	計		農 業 設 計	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 地	宅 地 等	計								
賀茂東	従前の土地	24.0	0.1	0.1	0.1				24.3					24.3	(-) 0.0							(-) 0.0				1.8	1.8		26.1		
	換 地	(22.4) 21.7	(0.3) 0.2						(22.7) 21.9	(0.7) 1.1		(0.7) 1.1		(23.4) 23.0	(-) 0.0							(-) 0.0				(2.7) 3.1	(2.7) 3.1		(26.1) 26.1		
堀越	従前の土地	21.0	0.2	0.1	0.0				21.3					21.3	(-) 0.0	(-) 0.0						(-) 0.0	0.1			1.6	1.7		23.0		
	換 地	19.0	0.3						19.3	0.7		0.7		20.0	(-) 0.0	(-) 0.0	(-) 0.0					(-) 0.0	0.3			2.7	3.0		23.0		
全体	従前の土地	45.0	0.3	0.2	0.1				45.6					45.6	(-) 0.0	(-) 0.0	(-) 0.0					(-) 0.0	0.1			3.4	3.5		49.1		
	換 地	(41.4) 40.7	(0.6) 0.5						(42.0) 41.2	(1.4) 1.8		(1.4) 1.8		(43.4) 43.0	(-) 0.0	(-) 0.0	(-) 0.0	(-) 0.0				(-) 0.0	0.3			(5.4) 5.8	(5.7) 6.1		(49.1) 49.1		

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
賀茂東 堀越 (各工区共通)		該当なし	母地集団化方式	おおむね2団地	(固定畦畔) ア.換地は、原則として標準区画を単位に 交付するが、換地すべき面積が標準区画 に交付して余る場合又は標準区画に不足 する場合は標準区画を分割して交付す る。 (移動畦畔) ア. 畦畔は、配分面積に応じて移動して定 める。

4 非農用地の換地方法

(第25表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m2)	換地の手法	換地取得予定者	その他
賀茂東 堀越		別添資料⑥参照					

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

項目別配点評価方式

本地区で決定した評価基準に基づき評価委員が評価する。

2 清算の方法

比例地積清算方式

事業による増価額を従前の土地の交付対象面積に比例して配分する。

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

換地区名	区分	一時利用地の指定	換地計画の決定	換地処分	備考
		予定年度	予定年度	予定年度	
賀茂東		(令和3年度) 令和6年度	(令和7年度) 令和8年度	令和8年度	地区面積 26.1ha
堀越		(令和3年度) 令和6年度	(令和7年度) 令和9年度	(令和8年度) 令和9年度	地区面積 23.0ha

第6節 換地処分の時期に関する特則

西大田地区については、各換地区の区画整理に係る工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項により準用する同法第54条第2項本文のただし書きの規定により、換地処分を行うことができる。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区 分 \ 事 業 名		農業競争力強化農地整備事業	(百万円)	備 考
区 画 整 理 暗 渠 排 水 小 計 測 量 試 験 費 用 地 買 収 補 償 費 換 地 ・ 確 定 測 量 費 事 務 費 (工事雑費含む)	区 画 整 理		760	R6年度単価 暗渠排水は、農地耕作条件改善事業
	暗 渠 排 水		287	
	小 計		1,047	
	測 量 試 験 費		100	
	用 地 買 収 補 償 費		52	
	換 地 ・ 確 定 測 量 費		58	
	事 務 費 (工事雑費含む)		63	
合 計			1,320	
関連事業(参考)				

第11章 効用

(第27表)

事 業 名	区 分 \ 項 目	年総効果額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
農業競争力強化 農地整備事業	作物生産効果	18,926	34,101	
	営農経費節減効果	60,327	60,327	
	維持管理費節減効果	△538	△538	
	国産農産物安定供給効果	2,773	-	
	計	81,488	93,890	

第12章 関係する事業

該当なし

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容

第13章 現況・計画図面

- 1 現況平面図
- 2 計画平面図
- 3 主要構造図